

米軍オスプレイの運用再開に向けたアプローチ

- 米海兵隊と米空軍AFSOCは、3月8日に運用停止措置の解除を受けたプレスリリースを公表。
- 当該プレスリリースの中で、両軍は、それぞれ、オスプレイの運用停止措置の解除を受け、「三段階アプローチ」を取ると発表。

	米海兵隊	米空軍AFSOC
目的	MV-22飛行隊の全てを完全な能力(full capability)に戻すための計画を実施	乗員、整備士及び航空機の運用再開準備が整うよう、複数の段階のアプローチを実施
第一段階	必要な基礎飛行要件の回復、部隊教官の能力回復、パイロットと乗組員のコア・基本技能訓練の熟練度強化	地上訓練とシミュレータ訓練、安全ブリーフィング、整備記録の見直し、新しい安全手順を実施するための飛行隊ごとの訓練計画の改良
第二段階	訓練と即応態勢に係る確立されたマニュアルに従い、基本的及び高度な任務に習熟させ、MV-22の部隊の中核的な任務を遂行する能力を示す	乗組員と整備士を対象とした数か月のプログラム。 ・乗組員: 基本的な任務遂行能力と熟練度を回復、その後完全な任務遂行能力と熟練度の獲得 ・整備士: 米海軍航空システムコマンドの運用再開指示書で指示された整備規則に沿った訓練を実施
第三段階	次のミッションに備えた具体的な配備前訓練及び全天候に備えた訓練を実施	任務、多国間演習、作戦任務と配備の完全な再開